こんな事故にもご用心（No.43）

事故ナイトいいね

ガス・石油ふろがまの事故に注意してください

ふろがまが水につかって異常着火

事例

ガスふろがまの火が付かなかったため、点火を繰り返したら異常着火した。（2012年１月　東京都）

原因

排水口が詰まって燃焼部が水につかったため、点火しにくくなっていました。点火操作の繰り返しで、周辺にたまったガスに異常着火したものです。

数回点火操作を行って点火できなかった場合は、操作を繰り返さないでください。漏れたガスに引火しますので、換気を行い、時間を空けてから再点火してください。
浴室の排水口はこまめに清掃してください。排水口が詰まって燃焼部が水につかると異常着火や腐食の原因になります。
給排気口等をふさがないでください。外壁工事用の養生シートで覆われているときは、使用しないでください。
入浴やシャワー、追いだきの際は、湯温を確認してください。突然、高温の湯が出ることがあります。
空だきしないように注意してください。栓も確実に閉めてください。

工事用シートで一酸化炭素中毒

事例

浴室で死亡している人が発見された。（2008年２月　愛知県）

原因

建物の塗装工事中で、ガスふろがまの給気口等がビニールシートで覆われていたため、不完全燃焼が生じて一酸化炭素中毒になったものです。

空だきして火災

事例

石油ふろがまから出火し、循環パイプなどが焼けた。（2011年12月　北海道）

原因

空だき防止装置のないふろがまの浴槽の水を確認せずにスイッチを入れたため、空だき状態になって火災に至ったものです。

石油ファンヒーターの前のスプレー缶が爆発

事例

石油ファンヒーターを使用中、スプレー缶が爆発して周囲を焼き、消火の際にやけどを負った。（2011年１月　大阪府）

原因

ファンヒーターの前に置いていたスプレー缶が温風で過熱され、内圧が上昇して破裂し、漏れた可燃ガスに引火したものです。

スプレー缶やカセットボンベなどを暖房機などの温風のあたるところに置かないでください。熱で内圧が上がって爆発するおそれがあります。

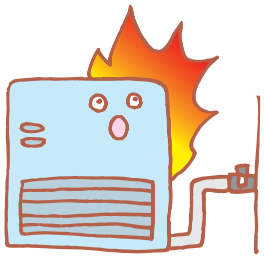
ガスファンヒーターから出火

事例

ガスファンヒーターのスイッチを入れたら、ガスが漏れて引火し、機器が焼けた。（2010年11月　埼玉県）

原因

ガスファンヒーターの接続口に専用のガスコードではなく、ガス用ゴム管を接続したためガスが漏れ、点火時に引火したものです。



ガスファンヒーターやガスストーブは、接続口に合ったガスホースを使用してください。直接、ゴム管などを接続するとガスが漏れて火災に至るおそれがあります。

⚠ このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。

nite・製品安全センター
ナイト

製品安全調査課
〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎第2号館別館
TEL 06-6942-1113　FAX 06-6946-7280